

平成 27 年 7 月 17 日

各位

八千代医療センター 医薬品情報室

## 新規採用医薬品のお知らせ

平成 27 年 7 月 15 日に行われた第 96 回薬事委員会において、下記の医薬品の新規採用および採用区分変更、採用中止が決定しましたのでお知らせします。

下記の医薬品の処方開始日は、平成 27 年 8 月 4 日からとなります。

採用区分

A...院内・院外共通

B...院内・院外共通（在庫を置いていないため、供給されるまで半日程度かかる場合があります）

C...院外専用

### 採用医薬品

	商品名	一般名	規格	採用区分・薬効等
注射	ケナコルト-A 皮内用関節腔内用水 懸注 50mg/5mL	トリアムシノロンアセトニド	50mg/5mL/V	A 採用 合成副腎皮質ホルモン剤
内服	ソバルディ錠 400mg	ソホスブビル	400mg/錠	B 採用 抗ウイルス剤
内服	ベルソムラ錠 15mg	スボレキサント	15mg/錠	B 採用 オレキシン受容体拮抗薬 不眠症治療薬
内服	ベルソムラ錠 20mg	スボレキサント	20mg/錠	B 採用 オレキシン受容体拮抗薬 不眠症治療薬
内服	レミッチカプセル 2.5µg	ナルフラフィン塩酸塩	2.5µg/Cp	B 採用 経口そう痒症改善剤
内服	テネリア錠 20mg	テネリグリプチン 臭化水素酸塩水和物	20mg/錠	A 採用（C 採用から切り替え） 選択的 DPP-4 阻害剤

### 院外専用採用医薬品

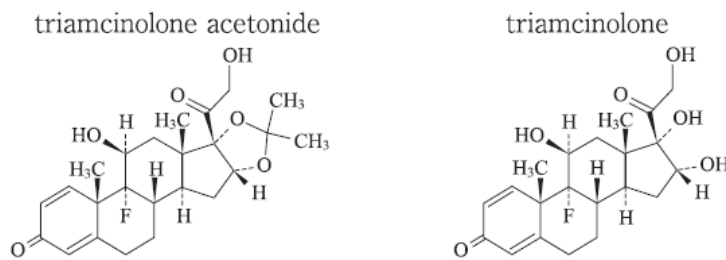
	商品名	一般名	規格	採用区分・薬効等
注射	ビデュリオン皮下注用 2mg ペン	エキセナチド	2mg/筒	C 採用 GLP-1 受容体作動薬
内服	ザファテック錠 100mg	トレラグリブチン コハク酸塩	100mg/錠	C 採用 持続性選択的 DPP-4 阻害剤
内服	ジャディアンス錠 10mg	エンバグリフロジン	10mg/錠	C 採用 選択的 SGLT2 阻害剤
内服	ジャディアンス錠 25mg	エンバグリフロジン	25mg/錠	C 採用 選択的 SGLT2 阻害剤

### 採用削除医薬品

	商品名	一般名	規格	備考
注射	ビデュリオン皮下注用 2mg	エキセナチド	2mg/筒	ビデュリオン皮下注用 2mg ペン採用のため

## ケナコルトーA 皮内用関節腔内用水懸注 50mg/5mL

一般名 : トリアムシノロンアセトニド  
規格 : 50mg/5mL/V  
分子式 : C<sub>24</sub>H<sub>31</sub>F<sub>06</sub>  
分子量 : 434.50  
構造式 :



禁忌 : (1)本剤の成分に対し過敏症の既往歴のある患者  
(2)感染症のある関節腔内、滑液嚢内、腱鞘内又は腱周囲  
(3)動揺関節の関節腔内

原則禁忌 : (1)有効な抗菌剤の存在しない感染症、全身の真菌症の患者  
(2)消化性潰瘍の患者  
(3)精神病の患者  
(4)結核性疾患の患者  
(5)単純疱疹性角膜炎の患者  
(6)後嚢白内障の患者  
(7)緑内障の患者  
(8)高血圧症の患者  
(9)電解質異常のある患者  
(10)血栓症の患者  
(11)最近行った内臓の手術創のある患者  
(12)急性心筋梗塞を起こした患者

効能・効果 :

(関節腔内注射)

- ・関節リウマチ、若年性関節リウマチ（スチル病を含む）
- ・強直性脊椎炎（リウマチ性脊椎炎）に伴う四肢関節炎、変形性関節症（炎症症状がはっきり認められる場合）、外傷後関節炎、非感染性慢性関節炎

(軟組織内注射)

- ・関節周囲炎（非感染性のものに限る）、腱炎（非感染性のものに限る）、腱周囲炎（非感染性のものに限る）
- ・耳鼻咽喉科領域の手術後の後療法
- ・難治性口内炎及び舌炎（局所療法で治癒しないもの）

(腱鞘内注射)

・関節周囲炎（非感染性のものに限る）、腱炎（非感染性のものに限る）、腱鞘炎（非感染性のものに限る）、腱周囲炎（非感染性のものに限る）

(滑液嚢内注入)

・関節周囲炎（非感染性のものに限る）、腱周囲炎（非感染性のものに限る）、滑液包炎（非感染性のものに限る）

(局所皮内注射)

・★湿疹・皮膚炎群（急性湿疹、亜急性湿疹、慢性湿疹、接触皮膚炎、貨幣状湿疹、自家感作性皮膚炎、アトピー皮膚炎、乳・幼・小児湿疹、ビダール苔癬、その他の神経皮膚炎、脂漏性皮膚炎、進行性指掌角皮症、その他の手指の皮膚炎、陰部あるいは肛門湿疹、耳介及び外耳道の湿疹・皮膚炎、鼻前庭及び鼻翼周辺の湿疹・皮膚炎など）、（但し、重症例以外は極力投与しないこと。局注は浸潤、苔癬化の著しい場合のみとする）、★痒疹群（小児ストロフルス、蕁麻疹様苔癬、固定蕁麻疹を含む）（重症例に限る）、★乾癬及び類症

〔尋常性乾癬（重症例）、関節症性乾癬、乾癬性紅皮症、膿疱性乾癬、稽留性肢端皮膚炎、疱疹状膿痂疹、ライター症候群〕のうち尋常性乾癬、★扁平苔癬（重症例に限る）、限局性強皮症、★円形脱毛症（悪性型に限る）、★早期ケロイド及びケロイド防止

・耳鼻咽喉科領域の手術後の後療法

(ネブライザー)

・気管支喘息

・びまん性間質性肺炎（肺線維症）（放射線肺臓炎を含む）

・アレルギー性鼻炎、花粉症（枯草熱）、副鼻腔炎・鼻茸、喉頭炎・喉頭浮腫、喉頭ポリープ・結節、食道の炎症（腐蝕性食道炎、直達鏡使用后）及び食道拡張術後、耳鼻咽喉科領域の手術後の後療法

(鼻腔内注入)

・アレルギー性鼻炎、花粉症（枯草熱）、副鼻腔炎・鼻茸、耳鼻咽喉科領域の手術後の後療法

(副鼻腔内注入)

・副鼻腔炎・鼻茸、耳鼻咽喉科領域の手術後の後療法

(鼻甲介内注射)

・アレルギー性鼻炎、花粉症（枯草熱）、耳鼻咽喉科領域の手術後の後療法

(鼻茸内注射)

・副鼻腔炎・鼻茸

(喉頭・気管注入)

・喉頭炎・喉頭浮腫、喉頭ポリープ・結節、耳鼻咽喉科領域の手術後の後療法

(中耳腔内注入)

・急性・慢性中耳炎、滲出性中耳炎・耳管狭窄症、耳鼻咽喉科領域の手術後の後療法

(耳管内注入)

・滲出性中耳炎・耳管狭窄症

(食道注入)

・食道の炎症（腐しよく性食道炎、直達鏡使用后）及び食道拡張術後、耳鼻咽喉科領域の手術後の後療法

(注)★:外用剤を用いても効果が不十分な場合あるいは十分な効果を期待し得ないと推定される場合にのみ用いること。

用法・用量：

（関節腔内注射、軟組織内注射、腱鞘内注射、滑液嚢内注入）

トリアムシノロンアセトニドとして、通常成人 1 回 2～40mg を関節腔内、軟組織内、腱鞘内及び滑液嚢内にそれぞれ、注射又は注入する。原則として投与間隔を 2 週間以上とすること。なお、年齢、症状により適宜増減する。

（局所皮内注射）

トリアムシノロンアセトニドとして、通常成人 1 回 0.2～1mg 宛 10mg までを週 1 回局所皮内に注射する。なお、年齢、症状により適宜増減する。

（ネブライザー）

トリアムシノロンアセトニドとして、通常成人 1 回 2～10mg を 1 日 1～3 回ネブライザーで投与する。なお、年齢、症状により適宜増減する。

（鼻腔内注入、副鼻腔内注入、喉頭・気管注入、中耳腔内注入、耳管内注入）

トリアムシノロンアセトニドとして、通常成人 1 回 2～10mg を 1 日 1～3 回鼻腔内、副鼻腔内、喉頭あるいは気管、中耳腔内及び耳管内に注入する。なお、年齢、症状により適宜増減する。

（鼻甲介内注射、鼻茸内注射）

トリアムシノロンアセトニドとして、通常成人 1 回 2～40mg を鼻甲介内及び鼻茸内に注射する。なお、年齢、症状により適宜増減する。

（食道注入）

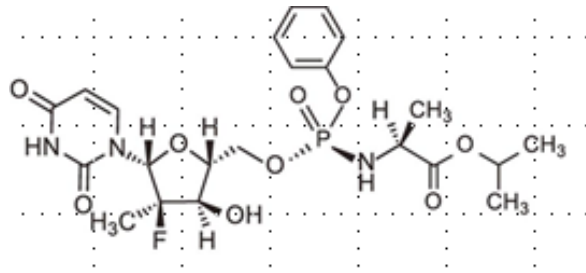
トリアムシノロンアセトニドとして、通常成人 1 回 2mg を食道に注入する。なお、年齢、症状により適宜増減する。

主な副作用：誘発感染症、感染症の増悪、続発性副腎皮質機能不全、糖尿病、消化性潰瘍、膵炎、精神変調、うつ状態、痙攣、骨粗鬆症、大腿骨及び上腕骨等の骨頭無菌性壊死、ミオパシー、緑内障、後嚢白内障、血栓症、ショック、アナフィラキシー ショック、喘息発作の増悪、失明、視力障害、腱断裂

会社名： ブリストル・マイヤーズ株式会社  
薬価： 218 円/mL  
同一成分薬： ケナコルト-A 筋注用関節腔内用水懸注 40mg/1mL (A 採用)  
同効薬： デキサート注射液 1.65mg、6.6mg (A 採用)、水溶性プレドニン注 10mg、20mg (A 採用)、リンデロン注 2mg、4mg (A 採用) など

## ソバルディ錠 400mg

一般名 : ソホスブビル  
規格 : 400mg/錠  
分子式 : C<sub>22</sub>H<sub>29</sub>FN<sub>3</sub>O<sub>9</sub>P  
分子量 : 529.45  
構造式 :



禁忌 : (1)本剤の成分に対し過敏症の既往歴のある患者  
(2)重度の腎機能障害 (eGFR < 30 mL/分/1.73 m<sup>2</sup>) 又は透析を必要とする腎不全の患者

併用禁忌 : カルバマゼピン、フェニトイン、リファンピシン、セイヨウオトギリソウ (セント・ジョーンズ・ワート) 含有食品

効能・効果 : セログループ 2 (ジェノタイプ 2) の C 型慢性肝炎又は C 型代償性肝硬変におけるウイルス血症の改善

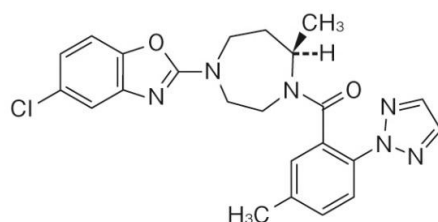
用法・用量 : リバビリンとの併用において、通常、成人にはソホスブビルとして 400mg を 1 日 1 回、12 週間経口投与する。

主な副作用 : 国内第 3 相臨床試験 (リバビリンとの併用) において、43.6%に臨床検査値異常を含む副作用が認められ、主な副作用はヘモグロビン減少 (15%)、頭痛 (5%)、倦怠感 (4.3%)、悪心 (4.3%)、そう痒症 (4.3%) 等であった。

会社名 : ギリアド・サイエンシズ株式会社  
薬価 : 61799.30 円/錠  
同一成分薬 : なし  
同効薬 : ダクルインザ錠 60mg (B 採用)

## ベルソムラ錠 15mg、20mg

一般名 : スボレキサント  
規格 : 15mg/錠、20mg/錠  
分子式 :  $C_{23}H_{23}ClN_6O_2$   
分子量 : 450.92  
構造式 :



禁忌 : (1) 本剤の成分に対し過敏症の既往歴のある患者  
(2) CYP3A を強く阻害する薬剤 (イトラコナゾール、クラリスロマイシン、リトナビル、サキナビル、ネルフィナビル、インジナビル、テラプレビル、ボリコナゾール) を投与中の患者

併用禁忌 : CYP3A を強く阻害する薬剤 (イトラコナゾール、クラリスロマイシン、リトナビル、サキナビル、ネルフィナビル、インジナビル、テラプレビル、ボリコナゾール)

効能・効果 : 不眠症

用法・用量 : 通常、成人にはスボレキサントとして1日1回20mgを、高齢者には1日1回15mgを就寝直前に経口投与する。

主な副作用 : 第Ⅲ相国際共同試験254例より、傾眠(4.7%)、頭痛(3.9%)、疲労(2.4%)

会社名 : MSD 株式会社

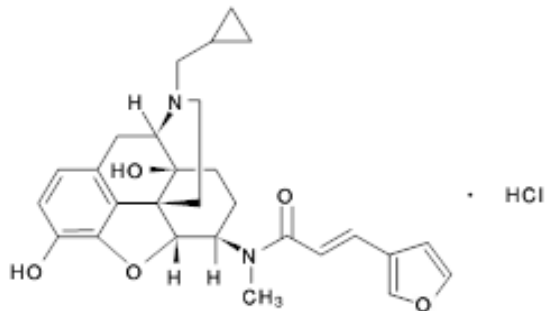
薬価 : 89.1円/錠(15mg)、107.9円/錠(20mg)

同一成分薬 : なし

同効薬 : ハルシオン錠0.125mg(A採用)、プロチゾラムM錠0.25mg(A採用)、ゾルピデム酒石酸塩OD錠5mg(A採用)、ロゼレム錠8mg(B採用)など

## レミッチカプセル 2.5 $\mu$ g

一般名 : ナルフラフィン塩酸塩  
規格 : 2.5 $\mu$ g/Cp  
分子式 : C<sub>28</sub>H<sub>32</sub>N<sub>2</sub>O<sub>5</sub>·HCl  
分子量 : 513.03  
構造式 :



効能・効果 : 次の患者によるそう痒症の改善（既存治療で効果不十分な場合に限る）  
血液透析患者、慢性肝疾患患者

用法・用量 : 通常、成人には、ナルフラフィン塩酸塩として1日1回2.5 $\mu$ gを夕食後又は就寝前に経口投与する。なお、症状に応じて増量することが出来るが、1日1回5.0 $\mu$ gを限度とする。

<用法・用量に関連する使用上の注意>

- ・血液透析患者におけるそう痒症の改善の場合  
本剤の投与から血液透析開始までは十分な間隔を空けること。  
(本剤は血液透析により除去されることから、本剤服用から血液透析までの時間が短い場合、本剤の血中濃度が低下する可能性がある。)
- ・慢性肝疾患患者におけるそう痒症の改善の場合  
本剤投与は1日1回2.5 $\mu$ gから開始し、効果不十分な場合に1日1回5.0 $\mu$ gへの増量を検討すること。

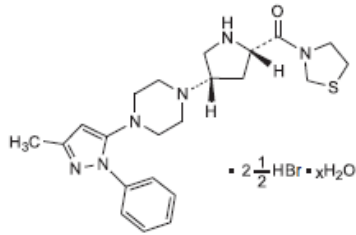
主な副作用 : 不眠(15.8%)、便秘(4.8%)、眠気(3.1%)。プロラクチン上昇(3.1%)、頻尿・夜間頻尿(9.5%)、便秘(8.7%)、プロラクチン上昇(8.5%)、不眠(7.0%)、眠気(5.4%)、抗利尿ホルモン上昇(5.0%)

会社名 : 製造販売元：東レ株式会社、販売元：鳥居薬品株式会社  
薬価 : 1795.00 円/Cp  
同一成分薬 : なし  
同効薬 : なし



## テネリア錠 20mg

一般名 : テネリグリプチン臭化水素酸塩水和物  
規格 : 20mg/錠  
分子式 :  $C_{22}H_{30}N_6OS \cdot 2 \frac{1}{2}HBr \cdot xH_2O$   
分子量 : 628.86 (無水物)  
構造式 :



禁忌 : (1) 本剤の成分に対し過敏症の既往歴のある患者  
(2) 重症ケトアシトシス、糖尿病性昏睡又は前昏睡、1型糖尿病の患者  
(3) 重症感染症、手術前後、重篤な外傷のある患者

効能・効果 : 2型糖尿病

用法・用量 : 通常、成人にはテネリグリプチンとして 20mg を 1日1回経口投与する。なお、効果不十分な場合には、経過を十分に観察しながら 40mg を 1日1回に増量することができる。

主な副作用 : 低血糖症 43例 (2.6%)、便秘 14例 (0.9%) 等

会社名 : 第一三共株式会社

薬価 : 186.8円/錠

同一成分薬 : なし

同効薬 : エクア錠 50mg (A採用)、ジャヌビア錠 25mg、50mg、100mg (A採用)、トラゼンタ錠 5mg (A採用)、オングリザ錠 5mg (C採用)、グラクティブ錠 25mg、50mg、100mg (A採用)、スイニー錠 100mg (C採用)、ネシーナ錠 6.25mg、12.5mg (C採用)、25mg (A採用)



## ザファテック錠 100mg

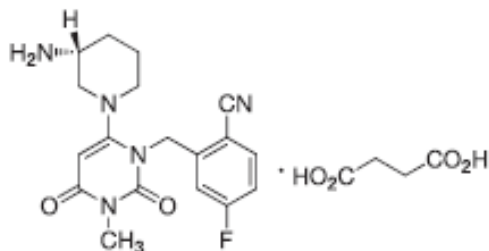
一般名 : トレラグリプチンコハク酸塩

規格 : 100mg/錠

分子式 :  $C_{18}H_{20}FN_5O_2 \cdot C_4H_6O_4$

分子量 : 475.47

構造式 :



- 禁忌 : (1) 重症ケトーシス、糖尿病性昏睡又は前昏睡、1型糖尿病の患者  
(2) 重症感染症、手術前後、重篤な外傷のある患者  
(3) 高度の腎機能障害患者又は透析中の末期腎不全患者  
(4) 本剤の成分に対し過敏症の既往歴のある患者

効能・効果 : 2型糖尿病

用法・用量 : 通常、成人にはトレラグリプチンとして100mgを1週間に1回経口投与。  
中等度腎機能障害患者では、50mgを1週間に1回経口投与

主な副作用 : 低血糖、鼻咽頭炎、リパーゼ上昇 等

会社名 : 武田薬品工業株式会社

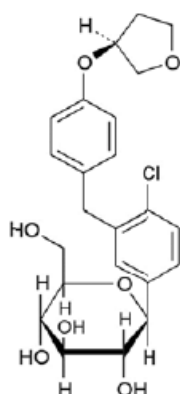
薬価 : 1045.1円/錠

同一成分薬 : なし

同効薬 : エクア錠 50mg (A採用)、ジャヌビア錠 25mg、50mg、100mg (A採用)、  
トラゼンタ錠 5mg (A採用)、オングリザ錠 5mg (C採用)、グラクティブ錠  
25mg、50mg、100mg (A採用)、スイニー錠 100mg (C採用)、ネシーナ錠  
6.25mg、12.5mg (C採用)、25mg (A採用)

## ジャディアンス錠 10mg、25mg

一般名 : エンパグリフロジン  
規格 : 10mg/錠、25mg/錠  
分子式 :  $C_{23}H_{27}ClO_7$   
分子量 : 450.91  
構造式 :



禁忌 : (1) 本剤の成分に対し過敏症の既往歴のある患者  
(2) 重症ケトーシス、糖尿病性昏睡又は前昏睡の患者  
(3) 重症感染症、手術前後、重篤な外傷のある患者

効能・効果 : 2型糖尿病

用法・用量 : 通常、成人にはエンパグリフロジンとして 10mg を 1日1回朝食前又は朝食後に経口投与する。なお、効果不十分な場合には、経過を十分に観察しながら 25mg を 1日1回に増量することができる。

主な副作用 : 頻尿 (3.8%)、低血糖 (2.3%)、口渇 (1.6%)、便秘 (1.4%) 等

会社名 : 日本ベーリンガーインゲルハイム株式会社、日本イーライリリー株式会社

薬価 : 205.50 円/錠 (10mg)、351.20 円/錠 (25mg)

同一成分薬 : なし

同効薬 : スーグラ錠 50mg (A 採用)、デベルザ錠 20mg (B 採用)、  
フォシーガ錠 5mg (A 採用)、カナグル錠 100mg (C 採用)、  
ルセフィ錠 2.5mg (C 採用)